

第18回 電気泳動学会総会号(1)

目 次

第18回 電気泳動学会総会講演抄録

[一般講演]

1. 薄層ゲル汎過法による血清蛋白分画の臨床的応用 第1報 分析方法および正常値 日大・医・臨床病理検査室 河合 忠・青木 紀生…(81)  
佐藤 和身・田部井 久伸之
2. 血清蛋白質の紫外寒天電気泳動分析に用いる緩衝液の検討 東京医歯大・教養 東京女子医大・中検 島尾 和男 …(82)
3. Agarose 電気泳動 東京女子医大・中検 池田須枝子・小峰 仙一…(83)  
佐藤 邦子
4. Polyacrylamide-agarose 二重 gel 電気泳動 札幌医大・和田内科 安斎 哲郎・谷内 昭…(84)  
高橋 陽・和田 武雄
5. ポリアクリルアミドゲルによる電気泳動について(第1報) 佐々木研究所 長瀬 多賀 すみ・齊藤 重野…(85)  
弘子
6. セルローズアセテート電気泳動法による血清蛋白分画値の再現性と今後の問題点 国立遺伝研・生化遺伝 小川 恵人 …(89)
7. 血清蛋白分画の精度管理の試み(第6報) 京都大・医・中検 富田 仁・小延 鑑一…(90)  
上田 俊子・西方 澄子  
田畠 勝好・奥田 伸司
8. 南極における血清蛋白分画の年間変動について 東京慈恵医大・第2生理 武藤 晃・中野 昭一…(91)  
鈴木 克子・佐藤 恒久  
酒井 敏夫
9. セルローズアセテート電気泳動による微量RNAの塩基組成決定 新潟大・医・生化 学新潟大・理・化 田中 龍夫 …(95)  
菅野 浩・常木 孝男
10. 血清 $\alpha_2M$ とプラスミン活性について 岐阜大・医・乾内科 安藤 宏・吉田 健生…(96)  
小島 峰雄・乾 成美
11. ディスク電気泳動法による齧液蛋白質の分析—2,3の神経性疾患の齧液蛋白について一 山口大・医・生化 稲富 洋明・岡村 功…(96)  
中村正二郎・青柳 竜平  
川田 若水
12. 産科領域におけるディスク泳動 その1: 正常妊娠血清のディスク泳動像 山口大・医・生化 川田 若水・稻富 洋明…(98)  
竹尾 和典・清水 二郎
13. 中耳腔貯留液蛋白と血清蛋白の比較 山口大・医・耳鼻科 茂木 五郎 …(99)  
山口大・医・生化 桑原 亮・緒方 幡典
14. 糖蛋白に関する研究(第2報) 佐々木研究所 長瀬 多賀 すみ・齊藤 重野…(100)
15. 尿蛋白のディスク泳動法による分析 山口大・医・生化 青柳 竜平・稻富 洋明…(106)  
岡村 功・鈴野 亮輔  
中村正二郎
16. 尿蛋白の研究(第2報)  
尿蛋白のゲル汎過分画とディスク電気泳動について 岐阜大・医・乾内科 入山 等・安藤 宏…(107)  
小島 峰雄・渡辺 文彦  
乾 成美
17. 小児腎疾患における血清及び尿蛋白のPolyacrylamide gel electrophoresisによる検討 新潟大・医・小児科 広川 亮二・長沼 雄峯…(108)
18. 血清 LDH アイソザイムの第3分画に関する研究 東京医歯大・医・中検 坂岸 良克 …(109)

19. 実験的細胞障害の程度と血清 LDH アイソザイムとの関連について	東京慈恵医大・第3病院内	山田 鈴・荻原 正雄…(111) 今川 省・松岡 錠明 寺岡 昭彦
20. 顎頭部悪性腫瘍組織の LDH アイソザイムにについて	慶大・医・耳鼻咽喉科	鈴木 安恒・三宅 浩郷…(111) 坂本 裕・橋本 啓介 笠木 正勝
21. 末梢神経の LDH アイソザイム	慶大・医・神経科	浅香 富允・三浦 貞則…(112) 伊藤 齊
22. 向精神薬物の脳 LDH アイソザイムに及ぼす影響についての実験的研究	熊本大・医・神経精神科	寺岡 葵・住吉 司郎…(113) 井上 起・清田 一民
23. 甲状腺 LDH 1型と 5型の特性の検討について	日赤中央病院・太中外科 東京医歯大・心研・生化学	尾見 安朗・太中 弘…(114) 阿南 功一
24. Phytohemagglutinin (PHA) の LDH アイソザイムに及ぼす影響	広島 A B C C	土岡 正法・A.D.Bloom…(116) 本田 武郎
25. リボゾーム蛋白質の電気泳動的研究	新潟 大・理・化 学 新潟 女子短大学 新潟 大・医・生 化学	菅野 浩…(118) 寺尾 和夫 緒方規矩雄
26. ミジンコ血赤素(ヘモグロビン)の精製と性質	新潟 大・理・生 物 新潟 大・理・化 学	小林 道頼・星 猛…(118) 菅野 浩
27. 結核感染和牛の血清蛋白像について	家畜衛生試・北陸支場	田中 享一…(119)
28. 二重標識ラット Hb-Hp 複合体の作製および正常ラットにおける代謝様式について	札幌医大・癌研 内	福田 守道・西田 陸夫…(119) 山本 厚子・佐々木喬敏 漆崎 一朗
29. 軟体動物の組織蛋白について	東京学芸大・生物学	井上 勤・佐藤 文機…(122) 小島河南子・井坂 紀子 池田 桂子・石田 修 鈴木 秀夫
30. Glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency 2家系の殿粉ゲル電気泳動	京都府立医科 増田 内	斎藤 隆治・渋谷 幸雄…(123) 中井 哲郎・竹林 政史 山本 学・細川 計明
31. Double albumin の免疫学的性質	金沢 大・医・小児科 石川県立中央病院 金沢 大・医・癌研 静岡県立中央病院	正木 明夫…(125) 寺村 文男 谷垣 信行・右田 俊介 祖父江 鮮・大林 弘幸
32. Na <sup>131</sup> I 賦加後甲状腺機能亢進患者尿中に出現する沃化物に関する研究	日赤中央病院・外科	宮本 璇弘・高橋 常和 太中 小松 智・比企 達男…(127)
33. 免疫電気泳動法による thyroxine 結合蛋白の研究 (第2報)	阪大・医・阿部内科 阪大・医・中検	宮井 潔・伊藤貴志男…(128) 阿部 裕雄一
34. 網内系機能亢進剤としての酸性多糖体の性状	日本医大・第2病院 産婦人科	大川 公康・大川 了汎…(130)
35. 大動脈酸性ムコ多糖類の研究	東京医歯大・医・心研 生化	阿南 功一・保崎 清人…(132) 巨田 康祐
36. 結晶性ガン特異蛋白	北大・医・第1生化学 癌研・実験動物	渡部 博之・佐藤 俊二…(133) 平井 秀松 蕨岡小太郎
37. 人癌特異抗原について	新潟大・医・第1外科 外 ガンセンター新潟病院 外	加藤 清・閑根 幸哉…(136) 赤井 貞彦
38. 癌組織蛋白の免疫化学的研究 —Hepatoma proteinについて—	札幌医大・和田内科	谷内 昭・高橋 陽…(139) 安斎 哲郎・和田 武雄
39. Rauscher マスウ白血病における血清蛋白の変動 一特に異常分画の出現について—	岡山大・医・平木内科	瀬崎 達雄・田中 茂人…(141) 福家 隆・入野 昭三
40. 牛脳蛋白の免疫化学的研究	慶大・医・神経科	伊藤 齊・三浦 貞則…(142) 齊藤 文雄

41. 胃癌患者の血清遊離アミノ酸像 (第2報)	新潟大・医・第1外科 ガンセンター新潟病院 外生化科学	武藤 経一・島田 寛治…(143) 丸田 宥吉
42. ヘマトクリット用毛細管を用いる免疫グロブリンの測定法	京都府立医大・丸本内科	赤井 貞彦 小島 光恵
43. 免疫拡散法による血清免疫グロブリンの定量	東京慈恵医大・阿部内科	山野 弘・杉島 聖章…(146) 丸本 晉
44. 腎疾患における血清、尿 immunoglobulin 定量について	千葉大・医・第1内科 キッコーマン醤油病院 中	橋本 信也・鈴木 啓司…(148) 佐々木勝久・斎藤 裕子 右田 俊介
45. Jerne 法による 7S, 19S 抗体産生の検討	東大・医・血清学	三輪 清三・東条 静夫…(149) 成田 光陽・山口 康児 吉野 明昭・若新 政史
46. BALB/C マウスにおける実験的異常免疫グロブリン血症 (第4報) 正常マウス免疫グロブリンの検討 (その2)	東京慈恵医大・阿部内科 東京慈恵医大・病理	足立 愛二
47. BALB/C マウスにおける実験的異常免疫グロブリン血症 (第5報)	東京慈恵医大・阿部内科 東京慈恵医大・病理	成内 秀雄 …(150)
48. 肝疾患と免疫グロブリン (第1報)	千葉大・医・第1内科	橋本 信也・佐々木勝久…(151) 鈴木 啓司・斎藤 裕子 阿部 正和 鳥海 純
49. 人免疫グロブリンの K, L 型比率、その本邦人における特徴と、異常蛋白血症における K, L 型分布との関係	徳島大・医・第1内科	三輪 清三・小藤田和郎…(152) 福山 悅男・林 直諒 御園生正俊
50. $\gamma$ A- $\gamma$ G 混合型 cryoglobulin	東大・医・血清学 東大・医・皮膚科	三好 和夫・沼田 幸子…(154) 西条 一夫・東原 正幸 上島 宏一・中野 益弘 三宅 正夫・吉田 和代 大野 文俊
51. 脳脊髄液の線溶活性の電気泳動学的研究	金沢大・医・第2内科	松橋 直・臼井美津子…(155) 水野 信行
		竹内 功・関本 博…(156) 村上 元孝

### 〔原著〕

家鶏における母鶏への日本脳炎血球凝集抑制抗体の移行に関する研究 (日本脳炎の疫学的研究 第12報)

血清免疫グロブリンの臨床的研究  
第2報 血清免疫グロブリンの疾患時変動

岡山大・医・公衆衛生学  
岡山県衛生研究所

九大・医・第3内科

緒方 正名・長尾 寛…(159)  
北村 直次・菊井 立子

戸田 武二 …(163)

### 〔会告〕

…(173)

第13卷  
第3号

# 生物物理化学

1968年  
5月

## 第18回 電気泳動学会総会号

### 目 次

#### 〔シンポジウム〕免疫グロブリンの基礎と臨床

1. 免疫グロブリンの化学	東大・教養・基礎科学	今堀 和友	…(1)
2. 免疫と免疫グロブリン	東大・医・血清学	松橋 直・白井美津子	…(5)
3. 骨髓腫の免疫グロブリン	日大・医・臨床病理	十字 猛夫	
4. 実験的異常免疫グロブリン血症	東京慈恵医大・阿部内科	河合 忠	…(13)
5. 免疫グロブリンの代謝	九大・医・第3内科	橋本 信也	…(19)
6. 癌患者の免疫グロブリン	新潟大・医・第1外科	平山 千里	…(25)
		吉田 圭介	…(29)

#### 〔原 著〕

薄層ゲル沪過法による血清蛋白分画法の臨床的応用 (第1報) 測定方法の検討および正常値	日大・医・臨床病理 日大・駿河台病院・中検	河合 忠・青木 紀生 田部井 久・森岡 和子	…(37)
---	--------------------------	---------------------------	-------

#### 〔報 告〕

新しい型のデンシトメーター検定用フィルムについて	東京医歯大・教養	島尾 和男	…(43)
--------------------------	----------	-------	-------

#### 〔そ の 他〕

第19回電気泳動学会総会印象記	慶大・医・神経科	伊藤 斎	…(51)
-----------------	----------	------	-------